

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成24年度 第5回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時		平成24年11月28日(水) 13時30分～15時30分		
開 催 場 所		黒川公民館 第1講座室		
出 席 者	委 員	生田議長、安藤副議長、岡田委員、田中委員、廣末委員、 米田委員、真鍋委員、岸本委員、佐伯委員 計 9名		
	そ の 他			
	事 務 局	泉教育振興部長、船曳総務調整室長、石田学校教育室長、 松田教育支援室長、岡野社会教育室長、渡瀬中央公民館長 下仲黒川公民館長、藤巴主事 計 8名		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会の報告 (2) 各協議会の会議報告について (3) その他 4. 議題 (1) 平成24年度年間研究テーマ「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」について (2) その他 5. その他		
会議結果		別紙のとおり		

<p>議長</p>	<p>皆さん、こんにちは。 本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。 それでは、第5回の社会教育委員の会を開催させていただきます。 今日、事務局の方もいろいろ考えていただきまして、日本一の里山である黒川公民館において開催することになりました。 まずはじめに、本日の委員の出欠でございますが、末澤委員が欠席されております。他の委員は全員出席であります。また、今日は、黒川公民館の館長さんにもご出席いただいております。よろしくお願いたします。 それでは、開会にあたりまして、教育委員会からごあいさつをお願いしたいと思います。 教育振興部長からあいさつを兼ねて、来年度に向けた予算編成や今後10年間の市政の方向性を決める第5次総合計画等について、あるいは、社会教育委員の会から提出された「討議報告」の中に、いろいろ傾聴する意見が多数あり意見を取り入れながら対応できるものについて、対応していきたいと考えている等の発言があった</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは、会議の方に入りたいと思います。 項目の2、「前回の会議録の承認」についてであります。お手元に第4回会議録の写しを配付させていただいております。事務局から説明をお願いいたします。 事務局から、9月26日に開催された平成24年度第4回の会議録について説明があった</p>
<p>議長</p>	<p>説明は終わりました。 ただ今の説明について、何かご質問等はございませんか。 (発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問もないようでございますので、前回の会議録をご承認いただいたものといたします。</p>
<p>議長</p>	<p>次に、3の報告事項についてであります。 まずはじめに、阪神北地区社会教育委員協議会の第3回理事会の報告について、事務局から会議報告をお願いいたします。 事務局から、10月12日に宝塚市において開催された阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会について、資料1～3にもとづき報告があった ・三田市から、「生涯学習に関する会議の設置について - 答申 - 」について、資料</p>

審 議 経 過

NO.2

<p>議長</p>	<p>の『答申』により説明があり、宝塚市からは『宝塚市社会教育委員の会議提言』という冊子を作成した旨の説明があった</p> <p>事務局から説明がありましたように二市から答申、あるいは会議提言等の発表がございました。</p> <p>ただ今の報告について、何かご質問等はございませんか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問もないようでございますので、次に、移らせていただきます。</p> <p>続きまして、報告事項の(2)各委員さんにご就任いただいております協議会の会議報告であります。前回の委員の会から今日までの間に開催された協議会等がございましたら、ご報告をお願いいたします。</p> <p>D委員から、学校支援地域本部事業の関係で、平成24年度国立青少年教育振興機構子ども夢基金助成交付事業として、11月25日に川西北幼稚園で、川西出身のチェンバロ奏者、絵本作家と絵本画家の三人のイベントを実施し、子ども・保護者200人程の参加者があった旨の報告があった</p>
<p>議長</p>	<p>新聞やインターネットでも載っておりました。いま、D委員さんの方から報告がありましたんですけど、それぞれ活動されているようでございます。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>他にないようでしたら、報告事項は終わらせていただきまして、4の議題の方に入らせていただきたいと思えます。</p> <p>議題に入る前に、この委員の会では、一年間の討議報告、あるいは各委員さんの思いを書いていただきまして、4～5年前から教育委員会に参考という形で提出させていただいておりますが、先程の部長のご挨拶の中で、実は、はじめて触れていただきありがとうございます。本当に、真摯に受け止めていただきまして、参考にいただき、有難く思っております。今後とも、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>そうしますと、議題1、24年度の研究テーマであります「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」について議論をしていきたいと思えます。</p> <p>前回議事録には、最後の方でございましたけど、今日的な問題であります学校教育の中での青少年を含めてのいじめの問題というのが、どうしても焦点化される形の中で議論をした記憶が残っております。これはこれで、引き続いた議論をして、我々、委員としても協議しなければいけないと思えますけど、今回は黒川公民館をお借りしての会議を開催しておりますので、部長のあいさつにもございましたように、黒川公民館の事業報告、あるいは里山ですね、丁度、今、本当に爽やかで、心が洗われる、里山体験学習、あるいは、この黒川小学校、今は休校中でございますけど、今後の保存やら活用等につきまして説明を聞きまして、意見交換を出来ればと思っております。</p>

<p>議長</p>	<p>併せて、来年1月に開催予定の教育委員さんとの意見交換会のテーマ、運営等についても、最後に、ご協議をいただけたらありがたいと思います。</p> <p>それでは、黒川公民館の事業報告、里山体験学習、黒川小学校今後の保存と活用などについて、順次、ご説明をお願いしたいと思います。ご質問等につきましては、事務局からの説明を受けましてから、一括して、お受けしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、まず、館長さんの方から、事業報告等について説明をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">黒川公民館長から、資料「平成24年度公民館事業計画書」や「公民館だより」等により、事業報告などについて、次のような説明があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川小学校の沿革や校舎（北校舎が明治37年の築で、南校舎が昭和22年に児童数の増に対応するため増築など）についての説明があった ・2009年に兵庫県の景観形成重要建造物の指定を受ける ・「公民館だよりを」各家庭に毎月配布している。また、公民館使用登録グループは2グループである ・公民館講座は地域の特性を活かした講座を中心に、9講座延20回の講座を開催 ・地域の活動や地域のつながり生活のつながり等と公民館とのつながりが非常に強く、地域の密着を感じる。 ・公民館の使用については、まちづくり推進協議会をはじめ、この地域の里山の森林ボランティア団体等々の団体の会議や打合せのため、また、市内外の自然観察会、研修会や市内小学4年生の里山体験学習などにこの場所を使っただき、本年度は40件近くの申請がある。 ・公民館の利用者数については、昨年度は、合計6083名で、本年度は、11月21日現在、合計5430名です。ただ、ハイキング等で立ち寄りられた方はカウントしていないため、実際には、もっと大きな数字になる。 <p>どうも、ありがとうございました。多くの資料を作ってくださいまして。</p> <p>次に、教育支援室、教育情報センターの方からも、学校教育の場面での『里山体験学習事業報告書～成果と課題～』をいただいておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">教育支援室長から、資料「平成23年度 里山体験学習事業報告書～成果と課題～」により、里山体験学習について、次のような説明があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験学習事業は日本一の里山である黒川地区を舞台に、体験学習をすることで、自然に対する畏敬の念、生命のつながり、環境保護の大切さ等を実感し、児童の豊かな心を育むことを趣旨としています。川西の持つ「ひと・歴史・文化・自然」の豊かさを活用する中で、心優しい児童の育成を図っている。 ・本事業は、平成20年度に5校が先行実施し、21年度から市内の全16校が実施。 ・対象は小学校の4年生で、3年生は県の体験学習として校区を中心に環境体験学習、5年生で自然学校を実施しており、学びの連続性、系統性からみても、4年
-----------	--

<p>議長</p>	<p>生に里山体験を入れることで、3・4・5とつながり、子どもの学び、育ちを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校実施から3年を経過し、里山体験学習が各校の教育課程に組み込まれて、馴染み、継続的に実施されるようになってきている。 ・経費については、各校の児童数に応じた必要経費を算定して、市から各校へ委託ということで交付している。 ・活動については、昨年度は延37回、児童1558名が黒川地区を中心に体験活動を行う。各校の詳しい実施日程や簡単なメニュー等は、事業の報告書に記載。 ・教育委員会事務局としては、ただ里山に行って自然を感じる活動だけで終わるのではなく、そこで活動されている方々と実際に触れあって交流することにも重点を置いている。特に、現在も黒川地区にお住まいの方々で構成された「黒川まちづくり推進協議会」とは連携を密にし、いろいろな活動にご支援をいただいている。また、黒川地区で活動されている多くの団体の方にもお力を借りています。 ・本事業の感想を昨年の報告から抜粋して報告があり、子どもたちが川西の良さを再発見する、故郷を愛する気持ちが芽生えた活動になったことが窺えた。さらに4年生の里山体験学習が在校生に周知され、学校全体で活動が広く広がっているということも報告された。 ・日本一の里山と歴史、文化、自然に直接触れることで本事業は心豊かな、優しい心を育み、ふるさと志向を育むうえでも、たいへん効果的になっていると考えている。 <p>ありがとうございました。</p> <p>最後になりましたが、公民館の修繕あるいは改修といいますが、それらをもとにした今後の方向等あるかと思しますので、よろしく願いたします。</p> <p>中央公民館長から、資料『黒川公民館の修繕及び改修整備に関する意向調査報告書<概要版>』により、黒川公民館の今後の保存と活用についての計画の概略について、次のような説明があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この調査報告書は、昨年度に、黒川公民館を利用されます地域の皆様方を対象に意向調査を行った結果をまとめたものである。 ・黒川公民館は、昭和52年の春に休校となった黒川小学校を活用しており、改修もしていないので、非常に傷みが激しく老朽化している状況である。また、平成22年3月30日付で県の景観形成重要建造物の指定を受けていることから、この施設の保存と活用について検討してきた。 ・これまでの経過について、報告書にもとづき説明。従前より黒川公民館の位置付けということで、市の方で調査・検討等を進めてきた。平成17・18年度から、黒川地域の活性化構想をたてたり、また黒川公民館の活用を中心にしましたワークショップを開いている。そうした中、県の景観形成重要建造物の指定を受け、昨年度には、近代和風建築総合調査が行われている状況である。 ・報告書には、4回のワークショップそれぞれの概要をまとめており、また意向調査の結果をまとめている旨の説明があった。
-----------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・配置計画については、地域の方々の意向は、この北棟の保全活用を前提として、南棟を解体するか否かについては、今回の意向調査の結果を踏まえた配置案を2案用意し、今後判断することになりました。改修計画案A案は、北棟と南棟を残して活用しようという案です。また、北棟西側の講堂は、基礎部分が老朽化していたため解体して、グラウンドの南端に恒久的な講堂等を建てようという案である。また、B案については、この北棟を残しようという案である。昔は南棟の場所がグラウンドであったことから、南棟を解体してグラウンドを復元し、講堂も北棟の西側が下のグラウンドに建てるという案である。基本的には、南棟を解体しようということである。 ・新しい施設に求められる空間と使い方については、報告書18頁に記載の4項目についての説明があった。 ・委員会としては、この内容を踏まえ、25年度に具体的な事業に向け建物の現況調査、また耐震診断に入る予定とし予算協議を進めているところである。
議長	<p>どうも、ありがとうございました。</p> <p>多くの資料を、全てを網羅する形の中で、個々の位置付けの部分など、事務局からのお話や現状報告がございました。いろいろ専門的な論議をされた結果だと思えますけど、違った立場で、皆様方の方でご意見やら、感想やら、思いやら、実際に関わっていただいている委員の皆さんもいらっしゃると思えますけど、どの視点からでも構いませんので、その前に、実は、ここがはじめという委員さんはおられますか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「挙手」する委員あり ）</p>
議長	<p>まずは、D委員さん、今日、来られた、感想だけでも。</p>
D委員	<p>ここへ来る道中も、すごく紅葉が綺麗で、すごく素敵だなと思いました。また、館内に入る所にも写真がいっぱい展示されていて、こんな素敵な所があったのだと。郷土館も、何度か行く機会があったんですが、このまた奥に、こんな素敵な所があるとは知らなくてビックリしました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、G委員さん、いかがでしょうか。</p>
G委員	<p>お伺いする時に一庫の方から来たんですけども、曲がる場所が分からなかったもので、きちんと案内板みたいなものが出ていると思っていたんですけど、それがなかったので、行き過ぎてしまって、また、戻ってきてというのがあったので、やっぱり、そういうところをもう少ししていただけたら有難いなということ。</p> <p>あとは、主婦は、すごくランチが好きなんです。こういうふうな所で、古い建物を使ったカフェとか、蔵を改造した所があるんですけども、保存をするけども、活用したい、でも人が来るということは絶対傷むということだと思えます。だから、そのところがどういうふうを考えてらっしゃるのかなと。人を、本当に集めていきたいと思うのであれば、車でしか来られないということも、我が子も里山ではないんですけども、その前に</p>

	<p>来させていただいて、昨日も、この話をしたことがある。もう一度行きたいけれど子どもの足では行きようがないというのが一点ありましたし、もっと人と、本当に思われるのであれば、何か、おばちゃんたちが集まるようなものをしていただけたら、ここでしか食べられない、この土地のそういうようなものをしてもらえると、もっと集まってくるのかなとか、ちょっと、勝手な思いですけど、思ったりもしました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。 もう一人いらっしゃいましたね。E委員さん、よろしくお願ひいたします。</p>
E委員	<p>還暦になる年まで生きていながら、はじめてここへ寄せてもらって、近辺は、ちよろちよろはしているんですけども、黒川という公民館、元々、小学校には入ってというのは何か感慨深いものがありますね。昔、我々が、よく育てられた学校の雰囲気そのままあるなというんで、非常に愛着がわいてくるというか、それが今の子どもたちにどれくらい印象深く心の中に入り込んでいくのかなというように。と、すると、やっぱり、広報、宣伝をしていかないと。というのは、北部の方の学校、地域に育っている子どもたちには馴染みがあってふるさとやなと思っても、南部の方の学校に育っているものは本当にそう思えるのかなというふうに思ったりしますので。それから、やっぱり、こういう所があるんだと、気軽に来れるんだという、そういう宣伝をしていくのが一番いいなと。とにかく、大人になっても川西にはこんな場所があって、これが我々のふるさとなんだと誇りに思えるような心を育てないとあかんというふうに思っている次第です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。 そうしますと、事務サイドから話がありましたけど、それを踏まえてご意見やらご質問やら、遠慮なく出していただけたらありがたいと思うんですけど。C委員さんは、実際、ここでの公民館活動の中で、講師なんかで来たことあるんやとお話をされましたんで、そういう立場からいって、ここの位置付けといひますか。</p>
C委員	<p>実は、下の校舎へ、そば打ちとうどん打ちの講習がありますから、それに来ています。ただ、この上の校舎は、今日が初めてなんです。下の校舎しか行ってませんが、下の方がもっと傷んでるなという感じがするんです。特に、調理室なんかは、歩いたらギコギコというて、そばを打っていたらギジギジいって、潰れへんかいな、大丈夫かいなと思うくらい傷んでいるんですが、お話を聞くと、逆に、下の方が新しんですね。 また、里山まつりがございます。その時には、川西市の茶道協会でも茶席を持つんです。徳林寺とかでやらせしていただいたら、雨降ったらかなんかというようなことで、去年から、下のグラウンドの仮設の講堂を借りてやらしていただくことになってまして、それは非常に助かります。実は、私は、煎茶をやりますんで、炭焼きの窯の前でやらしていただいたりしているんです。里山まつりって、日本一の里山やということで自負しているんですが、ところが自分たちはそういうように思って一生懸命やっているんだらうけども、そのへんの、外に対するPRがもう一つなされていないんじゃないかという気がするんです。川西の人でも、里山まつりを知らないんじゃないかなというふうに思うわけですよ。いろんな宣伝の方法がありますが、もっともっと宣伝をしていただいたら、ここが益々栄えてくるんじゃないかなというふうに思うんですが、逆に、あまり、皆さんに知られ</p>

議長	<p>すぎると、ここが、また傷むのかなと、痛し痒しのような感じがいたします。</p> <p>ここも、日本一の里山ということで、炭あり、桜あり、クヌギ林ありというようなことで、皆さんが、そういうようなことで自然を守りながら、一生懸命整備をなさっているということがあるんですけども、そんなことを、もっともっと皆さんに知っていただくことが大事かなと思います。これをみたら、小学生の皆様方が里山の体験学習に、これだけかいなという人しか来てないんですね。来てない人は全然知らんわけですね。もっと知らしめるために来れないんやろか。せやけど、そんなようけ来られたら地元の方の対応ができひんやろなという気はしますけども。里山も、いろんなことをやっていますから、手を挙げる人だけじゃなくて、強制するわけにはいきませんが、知ってもらうためにもっと活用する方法もあるんじゃないやろかなというふうに思います。今の小学生というのは、きりをもって、落ちて、怪我してとか、そういう自然とともに生活してきたということをやらないわけですね。ですから、そんなことを教える、ほんに良い場所なのにな、もっと自然に触れて、心豊かになるような方法があるんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>F委員さんは、結構、コミュニティーで。</p>
F委員	<p>先日も、こちらでお世話になりました。自然学習会というか、年間2回させていただいて、その中で、ここでやらさせていただくことがあります。一般公募で、うちは小学生もかなり数がいてということもあるんですけど、一応、危険面を考えて、必ず、保護者の方が同伴するという形にすると、やっぱり、一緒に来ないといけないという部分があって、なかなか、その参加が、お母さんやお父さんがそういうふうなことに興味がなかったら参加は出来ないけれど、参加をされている方はお子さんも、お父さんとか、お母さんが大好きというか、そういう自然に対して、やっぱり気持ちがある方が多いのでね。参加されている感じをみていると、すごく、いろんな虫であるとか、また、沢がにを取りに行ったりとか、いろんなことに触れながら、いろんな方が講師として参加していただけるので、とても、その分では良いなと思って、今回は私も参加させていただいたりしたんですけど。この、この地域のものというか、これを保全するのと、やっぱり活用するのとは、ちょっと難しいというのがありますよね。</p>
H委員	<p>北陵コミュニティの自然観察会を、年2回ここでお世話になっています。いつもは、下の集会所に集まり、親子連れで来られます。このような身近な所に自然豊かなものがあると、いろいろなものが観察できる場所があるというのはとてもありがたいと思います。下で活動するのと、この上で活動するのでは雰囲気違います。下の集会所は新しいですから、いつもの生活の延長という感じがしますが、ここに来ると、落ち着いた雰囲気になり、昔の子どもになったような感じがします。建物の雰囲気自体がとてもよく、落ち着いた場を作りだしているという感じがします。小学校4年生の里山体験でも、下の集会所で元気に活動しています。ここでは、あまり元気に活動すると、この建物の傷みも激しくなるのではないかと思います。にぎやかな活動には、なかなか適さないところもあると思います。ここはやはり、ゆっくりと、ノスタルジーというか、昔を感じながら活動するような場所として残していくのがいいんじゃないかという感じがします。</p>

<p>C委員</p>	<p>F委員さんが、さっきおっしゃった、ここへ来るのに、親子同伴やないといかんのですか。</p>
<p>F委員</p>	<p>自然学習会というのは、コミュニティーが主催しているんですけど、水には入ったり、その下のところでいろいろ川遊びをしたりとかなってくると、やはり、コミュニティーが主催しているので。それで、小学校の先生方にもお願いしてというか、校長先生、教頭先生がいつもお見えになって、させていただきます。</p>
<p>議長</p>	<p>B委員さん。</p>
<p>B委員</p>	<p>私は、中学校の時に、多分、コミュニティーの運動会だったのかしら、中学校から派遣されて、ここで演奏させてもらったりとか、深く付き合わさせてもらっています。でも、懐かしすぎて、今日、入ってくるドアが分からなくて、その中学校の時に来た頃は、黒川の人たちも人口が多くて、すごく賑やかやったんですけど。それから黒川まつりとか、ほとんどの場合、参加させてもらっているんですけど、だんだんご老人になってきて、お子さんが見えなくなってきて、野菜とか、餅ついたりとか、炊き込みご飯とか、婦人会でやられているんですけど、その他のテントの中は、市役所の方であったりとか、大阪青山学園短大のイチジクカレーを開発された方とか、NPOの方が外のピザの窯で焼かれたりとか、お手伝いに入っておられる方がほとんどで、地元の方がだんだん少なくなっているなという感想があります。地域を大切にしていこうという住民の方ですけど、お子さんが見えなかったというのがあれなんですけど。</p> <p>今、この黒川地区に小学生は何人いらっしゃるんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>いま、確か、東谷小学校に通学している児童は4人だと思います。1・2年生はタクシー通学の補助なんですけども、その対象者もいなくて、4年生以上で、確か4人だったと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>里山、ここを、他の方に来て、知ってもらおうというんですけども、PRですが、私たちの口コミのPRで知らしていく方がいいのかなと思いながら、里山まつりにいつも来させてもらっています。何年前には、炭焼き窯の前で、鹿のステーキを振る舞ってもらったりして、すごく美味しかったんですけど、ここにしかないものがいっぱいあるので、先程おっしゃっておられたように、ここでレストランとかという感じのものを思いますが、公民館ですので、そんなことは出来ませんね。あと、開発をしていくにも、この里山自体が制限されているんですかね、建物とかの。人口も増えないし、難しい、文化財に指定されてしまったら建て替えも出来ないというような現状があるみたいなんです。それをどう、外に向かってPRしていくかということが。</p>
<p>F委員</p>	<p>私たちの自然観察会でこちらにお世話になった時もハイキングなんかで来られてて、結構、トイレとかは借りに来られてましたよね。この中の何人かは、“こんな素敵な所があるんや”と発見されたりとか。</p>

B委員	<p>郷土館の時にも思ったんですけども、観光の一つとして、川西の中で観光バスを動かして、やったらどうかと思いますけれども。</p>
議長	<p>ありがとうございます。I委員さん、いかがでしょうか。</p>
I委員	<p>阪神6市1町でも、これだけ人が手を入れた自然が美しく残っているのは、私の知る範囲では、ここだけじゃないかなと思います。ただ、私が、一番思うのは、これだけのものを残せたのは、何百年にもわたりこの地域の人たちが嘗々として山を放棄せずに、自分たちの山を放棄せずに努力してきたからだというふうに、私は思います。ですから、後から来た我々が、その果実だけをいただくようなことは決してしてははいけません。やはり、何をやるにしても、地元の人たち、先祖代々この地域を、自然を守ってきた、手を入れてきた地域の人たちのニーズや、あるいは利益を最優先してことを進めなければいけないというように思います。もちろん、激しい都市間競争の中で、何とかしてこれだけのものを活用してやろうという気持ちは分からないでもないですが、やはり、守ってきた方々がいるから、いま、ここがあると、そういうふうに思うべきではないかと、私は思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。一通り感想なりをお伺いいたしました。後は、フリーな形でご意見を出していただければいいんですけど、この地域の、この黒川地区の40何世帯の人の協力がなければ、その意向がなければ、そこが上手く連携するなり、時間がかかってはいいんですけど、それが、やっぱり、今、言われたのと全く同じことです。私、40年も前から、結構、関わらせていただいて、地域住民の協力をやっぱり得なければいけないし、例えば、多くの人に来ていただいても、ここで活動なんか、僕も時たまやるんですけど、例えば、田圃の畦道なんかやっぱり通るんですよ、自然の中ですので。それ一つにしましても、指導者としてはもの凄く神経を使うんですよ。これは、いいのは分かっているんですけど、そこで生活をされている地域住民への影響といたしまして、畦道を通るんですけど、事前に断ったり、一つ一つやっていかなければ、山に生えている柿の木が自然のままじゃなくて、その土地の所有者の柿であったり、栗であったりという、その前提の区分がありますので、それは、全ての計画で大切じゃないかなと思いますし、この校舎、施設に関しても地域住民の方を入れた形のまちづくりの中で、やっぱり慎重に検討をされているんだなということを感じましたし、時間をとって、それをやっていかないとあかんのじゃないかなというように思いました。</p> <p>もう一点は、学校教育ラインの方で、トライやるウィークと一緒になんですけど、ぼくは川西の教育委員会が誇って、もっと声を大にして、自慢してもいいんじゃないかなと思います。小学4年生ですか、全校を対象とした形の中で、5年、10年、20年と立ち上がっていく中で、自分の郷土の、この地域を、ひと時であっても、全員で学んだという経験というのは、将来的にも大きな宝になってくるんじゃないかなと思います。だから、こうした地道な提起を、20年度からされているということは誇るべき教育委員会の事業じゃないかなというふうに、私は感じたんですけど。</p> <p>あと、ご意見、あるいは事務局の方からご意見等がございましたら、遠慮なく出していただけたら有難いと思います。</p> <p>ただ、部長の方から、第5次総合計画ですか、お話がありました。我々も全然知らな</p>

	<p>くて、パブリックコメントなんか、いつも出されているんだけど、我々、社会教育についていろいろ論議をやっているんだけど、一体どんな論議をされて、どんな文書を出されているのかという、雲の上のところできぐる回っているような感じがして、自分なりにも立場上、勝手に見させてもらいながら、果たして、生きがい、あるいはライフワークの方向性なんていう部分で、あまり目立たないというか、お金をかけなくたって、こういう学校教育、社会教育を含めた生涯学習の部分というのは、あまり目立たない印象を、私は受けて、この分野で論じておるんですけど、委員の皆さんの中で、読まれたのか、パブリックコメントを出されたのかどうか、ちょっと分かりませんが、私は直感的にそんなことを思ったんですけど。</p> <p>ところで、委員さんの中で、市の方で第5次の総合計画を検討されているということをご存知の方は、ちょっと手を挙げていただけませんかでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「挙手」する委員あり ）</p>
<p>議長</p>	<p>風の便りで知っているだけで、私も知らなかった。ですから、市は、多分、まわっていると思うんですけど。私も、慌てて、パソコンから出し来たんですけど、どんな、里山の位置付けやら、どこかで引っかかって、出ていると思うんですけど、黒川の位置付けなんかはどうなのかな、そのへんがもし分かるのであれば。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、来年度からはじまる10年間の第5次総合計画、まちづくり総合計画が策定はじめております。それと同時に、都市計画のマスタープランというのが併せて審議をされているんですけど、その中で、特に、これからの川西市においては、それぞれの地域の特性を活かしながら、その強みを強めていくということで、市全体としての発展を作り出していこうという一つの方向性が出てきております。例えば、この地域であれば、黒川の自然や、あるいはこれまで嘗々と培ってきた人々の暮らし、こういったものをどういうふうに関域発展につなげていくのかというような視点から作られているという状況です。</p> <p>今、議長がおっしゃったように、今回の総合計画というのは、例えば、教育、あるいは福祉というようなカテゴリーで別れてないんです。例えば、市民の生活の中でいうと「学ぶ」であったりとか、あるいは「育む」であったりとかというような、生活の中での行動といえますが、そういったものの切口で語られていますので、教育も、あちらこちらに分散されてしまっていて、あんまり形が見えていないというのも、実際、議論のあるところなんです。議会でも、“これ、分かりにくい”というようなご意見もあったり“いやいや、こういう市民目線の方がいいやろ”というご意見があったり、様々なんですけども。例えば、この黒川で申しあげますと、この黒川の地域というのは、当然のことながら、開発が規制されている状況の中にあります。そういう中で、お住まいの方々も、だんだん高齢化して少なくなってくる。こういう中で、この地域をどういうふうに関域させていくのか例えば、マンション建てれば人が増えるわけですけども、それがこの地域に関域になるのか、あるいは川西市全体の中での、I委員が言われたように、これまで培ってきて、本来であれば、もう失っているはずのものが、まだ残っている。例えば、この校舎もそうなんです。52年に休校になったから、実は、残っているんです。これ、休校になっていなかったら、とっくの昔に、鉄筋に建て替わってしまっています。それが、敢えて、休校になったことによって奇跡的にこれが残った。なおかつ、この古いのと新しいのがあって、</p>

新しい方が使いでがよかったから公民館も主として向こうを使っている。そういう偶然が全て重なりあって、いま、実は、残っている状況なんです。

そういう中で、確かに、南側は老朽化しているんですが、今、実は、県の、いわゆる景観形成の重要建物群という指定をしております、これは何かといいますと、明治の校舎と昭和の校舎が重なってそこに建っていることに意味がある、という論理なんです。実はこれ、指定を受けてしまっていますので、潰すに潰せないんです。何とか、この指定を解除できないかというので、私も、この間、県庁へ、ちょこちょこあたっているんですけども、一旦、解除をして、南側を潰して、こちら側を、今度は文化財で残せないかというようなことも考えながら、全体を見ているんですけども。そういう、様々な規制の中で、この地域を、どういうふうに、本来、活かしていくのか、さっきから、お話が出ているように、今回、ワークショップをしていただいて、地域の皆さんの意向をこれだけ聞いたうえで、という話になっているのは、実は、そういうところもございまして。

例えば、今、入ってきていただきましたけども、校門を入ると、昭和22年に建てた校舎が、どんと前にあって、北側の、この校舎が全く見えないですね。もしも、あれが、すとんとなくて、創建当時のグラウンドがあって、その一段高い所にこの校舎がどんとあって、なおかつ、正面には、この報告書にありますように破風のついた正面玄関なんです。後で見えていただいたらわかりますけど、丁度、そこなんです。この隣が、その入口に入ってるんですけども、軒瓦には、昔、学校を表しました「黌」という字、あの「黌」という軒瓦が未だに両側に残っているという状況の中で、本当に、明治の学校建築、木造建築の典型的な形のものを残している校舎、これを活用しながら、なおかつ地域に負荷をかけないで、どう活用するのかというのは、非常に難しいのは事実です。

先程から、里山の話が出てますけども、猪名川町も三田も宝塚も、それから能勢町も豊能町もみんな、実は、全国の里山百選に選ばれるために応募してるんです。全国で4474カ所の応募があって、この北摂地域で、ただ一つ、黒川だけが百選の中に入っている。それは、何故かという、いわゆる暮らしが生み出した特徴ある美しい景観が見られること。それから、かつて里でよく見かけた動植物が健やかに生きていること、それと里の恵みを活かす暮らしや営みがそこに存在していること、この三つの条件が揃うということが最低条件なんです。いわゆる百選の里山に選ばれるんですね。

ですから、今後、この黒川を活かしていくためには、やはり美しく調和のとれた景観を守るということ、それから多様な動植物の生態系を守るということ、それと人々の営みを守るということ、それと、プラス、人と里山との新たな関係をどう作っていくのか、この四つの条件をベースにしながら、この地域の活性化を考えていかなきゃならないということがベースにあるのかな。

本来、これを、文化観光課がやりますとどうなるかという、当然、観光資源として、多くの人たちを呼び込む方法で、やはり観光開発をしていかざるを得ない。先程、三田市の生涯学習を移管してという話がありましたけれども、実は、そういうこととは一番縁の遠い教育委員会の社会教育室がここを所管しながら、どう地域開発に、教育が、教育の手でコミットできるかということを考えているところが、私はミソだと思っています。いわゆる客を呼ぶためでもなく、文化財としてでもなく、地域の方々の協力を得ながら、この自然を守りつつ、文化財であったりとか、あるいは重要建造物であったりというようなことをいたしながら、これをどう活用していくか、まずは、川西の市民の生活に活用する。それから、地域の方々の新たな経済的なものも含めての創出に活用できる方法がないのか

	<p>というところで、一番、我々が動けるかなと。そういう意味で、自然とこの校舎を、この黒川のランドマークとして、保存・活用しながら、この里山に「触れる」「使う」「楽しむ」「学ぶ」、こういう要素を、どう、その中に取り込んでいくのかというのが、川西の教育行政の一つの大きな腕の見せ所というんですか、そういうところかなというふうなことを考えます。</p>
議長	<p>事務局の方からのお話もありましたんですけど、遠慮なく出していただきましたら。</p>
C委員	<p>たいへん難しい問題ですね、これ。皆さんに知ってもらいたいのは、あんまりぎょうさん来てもうては困るは、保存はしたいは、知って欲しいは、そのへんですね。たいへん難しい問題ですね。</p>
議長	<p>G委員さんが、最初にお話された標識、広報、看板を含めて、観光バスも、勿論、ここは入って来れないです。私は、ここの里山づくりの違ったグループで、この前も、夜遅くまで論議したんですが、能勢電車というのがあるんですね、ここは、高齢化社会になってくる、健康面、丁度、歩くのにいいコースなんですね。俗に、60代、70代、どれだけ多くの方が、子どもたちじゃなくて、歩いて、散策をされているのが街中で見受けられる。これは、本当に大きな宝、能勢電車という一つの企業と連携するような形の中の、この一帯を含めての、歩いて来ていただく、健康第一的な形の部分の層というのは、ものすごく増えそうな感じはするんで、当然、専門の業者の方なんかは考えてらっしゃると思いますが、いい知恵を出せたら、いろんな、JAとの関係も含めて、上手く、何かね。</p>
事務局	<p>思いはいっぱいありましてね。例えば、日生中央の深山池公園の所に、国崎が水没する時に、二つの小さな民家を保存しているんですが、あの地域の方以外は、皆さんもご存じないと思うんです。あれは1700年代のはじめに出来た民家なんです。実は、県の重要文化財なんです。ですから、あれをフェンスの中に閉じ込めておくこと自体が勿体ないんです。ですから、これを、こういう地域の中に、一連の、例えば、散策コースの中に位置付けるというようなことも、本来は考えればいいんですが、なかなか土地がない、場所がない、お金がない、様々なことで、なかなかそれも難しいというんですけども。 ただ、向こうの民家なんか、小学生が時々見学に、社会科で来るんですけども、やっぱり、異次元の世界に入る驚きというのは、もの凄く子どもたちは大きいですね。</p>
議長	<p>勿体ないですね、あの場所。北陵の方には、申し訳ないんですけど。</p>
F委員	<p>環境的に、もちろん、あそこにあってもいいんだけど、もうちょっと活用できる場所とか。あそこにあっても、公園が広い方がいいとか、地域の方は、やっぱり、たまに見る人は、あれですけどね。</p>
事務局	<p>ここは黒川ですし、あの建物は国崎でして、また、これも違うんです。そういう様々なしがらみをもっておりますので。</p>
議長	<p>本当に、いろいろと皆様方の知恵を出しながら、提起をしながら、行政の方で行わない</p>

	<p>とあかんのですけど、結構、時間がかかってしまって、あっちいたり、こっちいたりしましたんですけど、こういう環境の下での文化財やら里山、生涯学習の中の一環の部分の中での活用の宝を、我々は地元に関心を持っているということで、提起を受けたんですけど。他に、ご質問やら、ご意見等がございませんでしょうか。</p>
G委員	<p>この黒川には、もう新しく引越しされてくるような方はいらっしゃらない。よく、京都の方とかでしたら、お子様連れとか、山葵を作りたいからとかで、長野の方に引っ越したりとかというのが、ちょこちょこ聞いたりするんですが、ここの校区に関しては、一切、新しく来られる方はおられないんですか。</p>
事務局	<p>黒川には、今のところ、そういう新たに人の入ってくるであろう土地というのがない。</p>
G委員	<p>ということは、20年後を想定した場合は、</p>
議長	<p>土地の制約等がありますんで。 情報として、一軒、助産師さんとか、産婆さんといいますが、こういう所でやっていきたいということで一人こちらの古い所を改造されて、お住まいになって、出産なんかのお手伝いが出来る専門の方が、ここの土地に惚れて来られた方がいらっしゃいます。</p>
G委員	<p>そこには、結構、いろんな所から、こう。</p>
議長	<p>今、私が聞いている部分は一軒だけ聞いております。最近の話。</p>
G委員	<p>出産されたい方がそこに、 いま、出産はいろんな形で出産をしたいという方が増えているんです。だから、川西だけじゃなくて、その方のところで、宝塚の方からお産をしたいとかという方はいらっしゃらないですか。</p>
議長	<p>それは知らないですけど、専門家の方が、いい場所だという形で、こんな所でお仕事をしたいということで、開業かなにか、されたという風の便りでは、つい2週間前に聞きましたんですけど。</p>
G委員	<p>ありがとうございます。</p>
C委員	<p>黒川は、今、42戸とおっしゃいましたね。空き家はないんですか、その他、全然、ないんですか。ということは、昔から、42軒だったということですか。</p>
議長	<p>ほとんど、そうだと思います。</p>
C委員	<p>ほんなら、少なかったんですね。 それでね、僕も、東京にお住まいになっておられた、ここの出身の方が、“黒川を守るために、お前帰ってこい”というて、老僧に言われて帰ってきた。それで、一生懸命、黒</p>

	<p>川を守るためにやってはるというふうに聞いているんです。それを一生懸命進めて、“お前帰って来いと、東京から、黒川を守るために”ということ呼び返されて、しょうことなしに帰ってきたと。そんなことで、地を守るために、“お前、帰って来い。黒川を守らなアカんで”というふうに呼び返されて、いま、一生懸命頑張っておられるようでございますけど。そんな方がおられるということは、貴重なことやなと思うんですよ。守らないかんけれども、どう守っていくかということが大事でね、何も観光地にしてね、いうたらユネスコの世界遺産に指定されたみたいになっちゃおうと、荒らされて、荒らされて、えらい目にあうという話も聞いてますから、そのへんが非常に裏腹。どこまで知らしめて守っていくんだ、どこまで人に理解をいただいて来てもらうねんということ、このへんが大層難しいですね。観光地にするんやったら観光地にしてしまうねんけど、観光地にはする気には毛頭ない。そのへんが、それこそ、ここのお住まいの、さっきから話が出てますように、方々が、どうしていったらいい、また、市が、それにどう力添えをしていくんやということですか。難しいですね。</p>
<p>議長</p>	<p>どうなんでしょうかね、文化財の問題もありますし、私のお話したように、これから高齢者の部分での心の癒し的な形の中でのふるさとをどう保全していくかというような部分もありますし、いろんな制約はあるかと思えますけど、ぜひ、人間の長い一生の中で、子どもから大人まで、自分の郷土を愛するといいますが、そういう部分の施策を見捨てることなく、地道ではあっても、一つ一つ前進して欲しいなというように思います。諄くなりましたけど、小学校全員が、一度は、国崎を含めて、この地を踏むという企画、これは、どんどん、もっとPRしていただけたらありがたいなというように思います。</p> <p>そうしますと、時間が迫ってまいりましたし、この後、見学もちょっとさせていただきたいと思うんですけど、今日の論議、ここで終わらせていただいてもいいですか。</p> <p style="text-align: center;">(了 承)</p>
<p>議長</p>	<p>次に、3年前前から、教育委員さんと意見交換の場の設定を、こちらからお願いしてするようになりました。それで、私と事務局、教育委員さんとの連携が、ちょっと悪い部分がありまして、総花的になって、事前に調整なしの形で教育委員さんとの意見交換しております。的を絞ったと思うんですけど、よく考えてみましたら、こちらが一方的にという部分もあるかと思うんですけど。前回、課題のようにしてきましたんですけど、こういうテーマでというような部分で、もし、お考え等がありましたらお聞きしときたいなと思います。また、後で、事務局とも調整したいと思うんですけど。あるいは、事務局の方からもしいい案がありましたらお願いいたします。</p> <p>事務局の方で、いい考えはありませんでしょうか。教育委員さんと社会教育委員として教育委員さんと話したりする時に、こっち、白紙のまま臨むわけにはいかない。テーマはテーマで設けておるんですけど、どうしても、総花的になっちゃいまして、我々、委員10人がおりますと、10人それぞれが喋って、いろいろでしまつたら、短い時間ですんで、何とかいい方向が、論議ができたらなという思いがあったんで。アドバイスをいただけたら。</p>
<p>事務局</p>	<p>そしたら、ちょっと、考えさせていただいて、事務局と議長とご相談させていただきま</p>

<p>議長</p>	<p>しょうか。</p> <p>委員の皆さん、それでいいですか。</p> <p style="text-align: center;">(了 承)</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、そのようにさせていただきます。</p> <p>それと、2月の社会教育委員の会が、本年度の最後の委員の会になります。ということで、2月の委員の会で、一応、過去5回にわたって論議したことをまとめて、教育委員会の方へ経過報告、諮問を受けていませんので、こういうことを論じて、こういうように論議して、考えていますという部分を、A4に2枚か3枚にまとめたいというように思っております。それに加えて、我々、独任制ですので、一人一人の委員でございますので、委員独自の、社会教育委員として事務局の方に提言といいますが、社会教育委員としての見解やら、思いやら、提言やら、個々の責任のもとで書いていただいて、これも、同時に、教育委員会の方に提出していきたいと思っております。</p> <p>今日、本当に、はじめて、部長の方から回答をいただきましたが、そのような形で事務局に参考にしていただくという形で、これは、2月の時に集めたいと思っておりますので、社会教育委員として、個々まとめていただきたいというように思っております。よろしくお願いたします。</p>
<p>C委員</p>	<p>ということは、2月27日の会議の時に持ってきたらいいわけですか。</p>
<p>議長</p>	<p>2月の会議には、全委員さんに配られる形にしたいと思いますので、全体の分は、こちらの方で、議長・副議長でまとめさせていただきますけど、個々の分は、その1週間前には事務局へ提出をお願い出来ますか。それでは、委員個々の分は、2月20日までに事務局への提出をよろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;">(了 承)</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、第5回の委員の会を終わらせていただきます。</p> <p>委員の皆さん、本当に遠い所まで、ありがとうございました。また、事務局の皆さん、ご苦労様でした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">- 会議終了後、黒川公民館の施設見学を行った -</p>